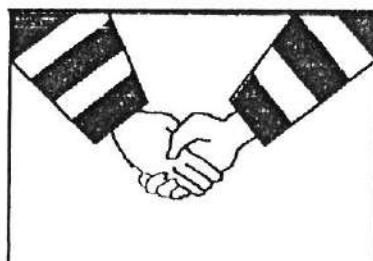






# こどものへや



発行責任者 滝川郁子  
〒239 横須賀市長沢 87-2  
TEL, FAX (0468) 49-8349

藤沢市にある「ゆうき村」更生と、身体障害者のデイサ  
施設です。

「皆さんでどうぞ」といふ言葉に甘えて、六月十四日  
母親と、大勢で伺いました。

見学させて頂いていると、居  
時間になりました。皆、食堂へ  
集まつて行きます。ある部屋に  
入ると、縫いぐるみの人形に囲  
まれて座っている人が：次の部屋  
のテラスには、また座り込んでいる  
人がいました。表面だけ見れば、勝  
手なことをしているので、しばらく  
そのまま放つてあるとも見えます。  
でも私たちには、とてもほほえま  
い光景に映りました。その人の心の  
ペースに合わせて、納得するまで、  
待つてゐると思ひました。じきに、  
彼らも迎えられて、仲間と一緒に食  
事をとるようになるだろうという安  
心感がありました。その安心感は、  
施設全体、建物も働いてる方々も  
含めて、漂つてゐるやさしい雰囲気  
からくるものです。もう一つ楽しい  
と思ったのは、誰も「いかにも」と  
いうジャージを着ていなかつたこと  
です。土いじり等、本当に必要な時  
以外は、動きやすいカジュアルウエ  
アーチを着用ということでした。何氣  
ないことですが、自然体で普通に生  
活することの大切さを、表してゐる  
と思いました。

玄関には、バランスを崩さず、座つて靴の脱ぎ履きが出来るようになるとベンチが備えてあり、室内の手すりも凹凸のあるしゃれたデザインの木製の物で、触ると温かさがあります。

通所者の活動も幅広く、缶潰し・紙すき・木工・割り箸の受注・農芸等だそうですが、作業の部屋もそれぞれ名前がついていて、ハリケーン・スターダスト・オーロラ・サンダーという風にとても楽しく機能的で、作品の一つであるカレンダーも大変立派な物でした。また食堂は、四季を通じて自然を感じながら食事が出来ます。

まれて座っている人が：次の部屋のテラスには、また座り込んでいる人がいました。表面だけ見れば、勝手なことをしているので、しばらくそのまま放つてあるとも見えます。でも私たちには、とてもほほえまい光景に映りました。その人の心のペースに合わせて、納得するまで、待つていていました。じきに、

時間になりました。皆、食堂へ集まつて行きます。ある部屋に入ると、縫いぐるみの人形に囲

藤沢市にある「ゆうき村」は、知的障害者の通所更生と、身体障害者のデイサービスを行っている施設です。

観て・感じて……

(木のぬくもりや優しさに触れて) 田園風景の残る藤沢市の郊外に、ゆうき村の施設カラードーであるグリーンの建物が爽やかに力強く、ドーンとしたたどまいを見せて います。正面玄関を入れると、タイルの一枚一枚にも工夫が見られ、緩やかなスリップは、銀杏の葉にモチーフされ、こだわりが見られます。もう一方の玄関には、バランスを崩さず、座つて靴の脱ぎ履きが出来るようになるとベランダに面しており、室内から外

六月五日、第二回山鳴工芸サマーが、総合福祉会館ホールで開かれました。

第一部では、組太鼓の演奏と、独唱とコラス。自然生クラブ（さまざまな障害を抱える若者が、有機農法の農業をするかたわら、太鼓の演奏活動をしている）の若者達がそろい、太鼓が体中にドーンと響くと、何かの始まりを期

待させます。所員  
心に届

綾子先生のソプラノ独唱。澄みきつた声にせし。い歌詞は理解できなくとも、リードいたと確信しました。

第一部を通して、どの演奏所の方も、それぞれの感受性を持って音楽を受け止め、さまさかな個性をアラスして、感動を表現していましたように思いました。周りに遠慮する事なく本物の音楽を聞ける機会は、障害のある人にも又介助する者にもう

「感じて…」（個性を大事に尊重）通所者の方が明るく、伸び伸びとおお

指導員

→ 温泉  
→ 麻から天井まで何一つ無駄のない快適空間、まるでアートを楽しむ感覚で見学させて頂きました。

した。スタッフの方もピリピリしたところがなく、優しい目・顔で温かです。二時間余りの飯野所長の説明や通所者との会話の中で、個人個人をとても尊重されている姿を垣間見こうした豊かな本物の環境の中で、ゆうき村にはいつも居心地の良い状態がキープされていて、通所者が和める場所となつてゐるのだなーと納得しました。

「人にやさしく、人はやさしく」

所長 潼川郁子

立派が物でした。また食堂は四季を通じて自然を感じながら食事が出来るよう広いガラス窓が明るく、

熱いものを感じました。そして赤岡

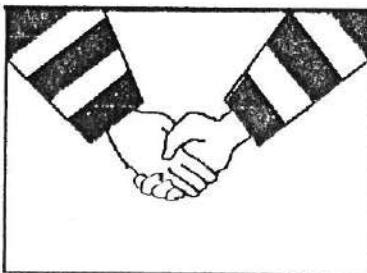
（おばさん？）に感謝致します。



# 子どものへや

発行責任者  
〒239  
TEL. F

滝川郁子  
横須賀市長沢 87-2  
9468) 49-8349



障害者プラン研修会

六月三十日と七月十七日との二回の「障害者プラン」の研修会に出席した。十七日は社協の団体部会の主催で、市の障害福祉課主幹の小沢氏より、障害者基本法と障害者プランとを対比させながら説明していただいた。特に資料として配布されたプランの全文は参考になつた。理解に勉めるのが精一杯で、日頃の不勉強を反省させられた。両日いただいた資料に基づいて、まとめてみた。

○：プランが策定されるまでの経緯

○平成八年～十四年の七ヶ年での数値目標を盛り込んだ計画

「国際障害者年」、「国連障害者の十年」、「アジア太平洋障害者の十年」の国際的な流れを背景に、「障害者基本法の制定」「障害者保健福祉施設推進本部の設置」「市町村障害者計画策定指針の発表」「社会保障体制の再構築勧告」「障害者保健福祉推進本部よりの中間報告」という経過を経て、平成七年十二月に「障害者プラン」が策定された。

○：福祉分野の長期計画策定  
・新ゴールドプラン・エンゼルプラン

○：障害者対策推進本部  
(平成七年十二月)

本部長：内閣總理大臣  
事務局：總理府

「障害者対策に関する新長期計画」の具体化を図る

重度重複障害者について、言及されているのは二ヶ所である。

テムの構築

在宅の障害児が身近な場所に通うことができるよう、保育所等を活用した小規模の心身障害児通園

のための通園事業を、約1・3千箇所を目標として、計画期間内に

特集

## 及びサービスの質的向上

A detailed line drawing of a sunflower plant. It features a central stem with several large, serrated leaves at the base. At the top of the stem is a large, fully bloomed sunflower head with many petals and a prominent center.

に、七年後の目標として考えられたものですが、実際のニーズははつきりせず、これらの数字を上まわる理由があるという指摘でした。

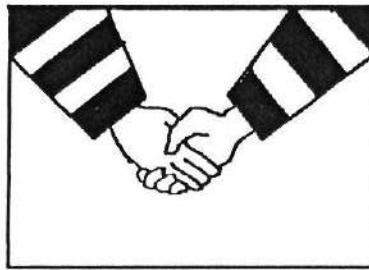
であり、市町村の役割強化が必要とされます。横須賀市でも各部門の伐

指導員 中田光子



# 子どものへや

発行責任者 滝川郁子  
〒239 横須賀市長沢 87-2  
TEL, FAX (0468) 49-8349



## 親離れは 快調にすすんで

!?

『子どものへや』の宿泊訓練

今年の『子どものへや』の宿泊練習は、昨年よりも、少しゆっくりした時間を過ごして欲しいという指導員の方たちの気持ちに支えられ実現した。二人ずつ二回に分けて行ったが、まとめて報告したい。

【参加者と日程・日課】

◎九月六日～七日

滝川充君・向山朋美さん

◎九月二十一日～二十二日

小田康雄君・福谷慎吾君

午前中、一組目はカラオケを楽しむ。二組目は散歩。午後は、CDやテープを聴いてゆっくり過ごす。

三時半から四時、昼間の指導員と宿泊する指導員と引き継ぎ。夕食後、ビデオを見たり、CDを聴いたり、体拭いたり。

【食事】

◎昼食：カレーライス（皆が好物でこどものへやの安心メニュー）

◎夕食：今年もデニーズへ。滝川君

小田君・向山さんは、につり満足、食欲旺盛。福谷君はちよつとあたりをキヨロキヨロ。でも半分以上食べた。

◎朝食：サンドイッチ。皆ペロリ。

【睡眠】

◎向山さんは何の不安感も抵抗も見せずぐっすりと朝まで寝入る。

宿泊三回目ですつかり板についた

皆の心の成長が著しい事が分かる。作業所といる場所に慣れ指導員さんとの信頼関係ができるがあがっていく過程がはつきり表

れている。

◎役所へ行ったり、知人を訪ねたり時間を感じずに行動できた。夜もゆっくり眠れた。（本人がい

家にいる感覚で、玄関や台所にまで出していく、ふだん以上によく動き回った。というように、年一回の宿泊練習なのですが、回を重ねる毎に、

「その日 親たちは？」  
○夫婦で、日帰りですが箱根へドライブ。温泉にも入った。  
○夫婦で、畠の上の蘭草のカーペットの張り替えをした。（本人がい

ると、埃が出るのでなかなかでき

ないので…）  
○夜、目を覚まして、無意識に子どもの事を気にしたりしたが、一日ゆっくり過ごせて一息ついた。  
：親も子離れができるつあると思いませんが、いかがでしょう。

『小さき花の園』に入所中の鈴木幹大君と、体調のすぐれなかつた中野真一君は、残念ながら今回は不参加だった。

興奮した光のパレードの後は、車両のまま乗船できる「マーケット・ウェイン号」です。打ち合わせもないのに一同が集まり、船上でゆっくり涼みながらの花火見物になりました。

野真一君は、残念ながら今年は不参加だった。

：親も子離れができるつあると思いませんが、いかがでしょう。

七月二十五日、初めて全員が参加できたディズニーランド行は、恒例になりました。興奮と緊張、魅力いっぱいです。

一人一人が楽しめるよう、グループ三・四名で行動しました。時間の許す限り、夢と冒險の世界に入つてみよう、新しい街『トゥーナタウン』も行こう、食事もゆっくり味わいたい、乗つても乗つても乗り足りないディズニーランドです。

スピーデ感が好きな人、ゆっくり動く乗り物、音楽を聴きながらの乗り物、暗い所・光の点滅がお気に入りの人、全員大好き

が、迎えに来たお父さんには嬉しそうな甘え声を出していた。滝川君はふだんはお母さんに寄り添つて行くのに、あつさりした態度だったので、迎えのお母さんが少々がつかりました。

小田君は宿泊が嬉しいらしく、二

度下さり、気分も最高です。

## 楽しきディズニーランド

今年は武山養護学校の新矢先生と石原先生が参加して下さり、ケジユールも綿密に立て、計画通り実施します。作業所は少人数の為、すぐ予定が変えられる利点があります。

「これからも健康でたくさん経験させて欲しい、たくましくなつた所員たちと楽しく過ごせて良かつた」と言つていらつしやいました。

ボランティアの外川さん・山口さんご協力ありがとうございました。

以上が実感。

向山さんは、ゆとりの宿泊だったが、迎えに来たお父さんは嬉しそうな甘え声を出していた。滝川君はふだんはお母さんに寄り添つて行くのに、あつさりした態度だったので、迎えのお母さんが少々がつかりました。

小田君は宿泊が嬉しいらしく、二度下さり、気分も最高です。

# ひとときの お手伝いをしながら

ボランティア

石田妙子

『ことものへや』の開所式に参列して以来、私にできるお手伝いはと心にかけていました。幸いにも中村先生のお宅でそれが実現しました。先生はミシン、私はアイロンの手を動かしながら話もはずみます。所員の皆さんをとりまく環境は、心温まる努力の積み重ねの毎日が回転しています。この世に生命を受けたものが、皆平等の恩恵が受けられるようにと、お母様方の明日を見据えての努力が関係の方々の心を動かし、更に拡がっていく、そんなご様子を聞かせていただきながらのひととき。

在職中、自閉症をもつ『マーちゃん』に出会いました。二時間目の授業が終わると、ダダダダ職員室のドアが開き、私の首つたまにかじりついて、又、風の如くに出ていく『マーちゃん』……。先日お母様から、『マーちゃん』の個展のお知らせをいたいたので、友人と市民病院へ行き、ギャラリーと廊下に飾られた絵を見ました。神奈川新聞にも掲載されていたので、楽しみに出かけました。あいにく『マーちゃん』にお母様にも会えませんでしたが、一つ一つ丹念に見ていました。『マーちゃん』の才能を見出まして、ここ

までしてくれた方々、それに答えて頑張った『マーちゃん』、おめでとう。もう十何年会っていない、どんな青年になつていてるかしら?。

『ことものへや』の建設の実現に先ず土地探しと、所長さんははじめ多くの方々のお力が実りつつあるご様子。その朗報を耳にし、心から喜んでいます。何年かかつたのでしょうか。毎日のお世話と関係の各方面へ

八月二十一日、横須賀・三浦作業所連絡会として、横須賀市長に対し今年度の要望書を提出した。

## （要望内容）

一、利用者の交通費の全額補助

二、家賃補助制度の見直し——現在の方法を改め、その補助を。

三、職員給与の最低保証を。

四、災害対策の設置——耐震検査実施と補強策を。緊急援助対策

の足運び、理解を得るための苦心等々……。でも協力して頂けて本当によかったです。

私ども普通に物を考え行動できる者は、健常者はない宝物をもつ『こ

どものへや』の若者を、しっかりと支えてあげたいとの思いは強いです。

毎日若者達に接し頑張っている方々に感謝と敬意の念でいっぱいです。

の足運び、理解を得るための苦心等々……。でも協力して頂けて本当によかったです。

私ども普通に物を考え行動できる者は、健常者はない宝物をもつ『こ

どものへや』の若者を、しっかりと支えてあげたいとの思いは強いです。

◆ご寄付

・亀井 譲

・河上義子様

・上田順子様

・照葉会様

・山崎和子様

・外川セツ様

・堀田園子様

・山崎千代子様

・川名道子様

・高木洋美様

・足立義子様

・熊本美枝子様

・堀越君枝様

・細野清美様

・安田靖子様

・垂見和子様

・今江恭子様

・大野静枝様

・土川八重様

・大澤央子様

・石田妙子様

・細野清美様

・川名道子様

・高木洋美様

・堀田園子様

・山崎千代子様

・高木洋美様

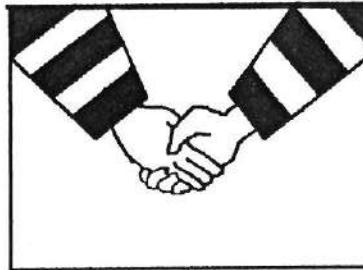
・外川セツ様

・堀田園子様</

# 子どものへや

発行責任者  
〒239  
TEL. FAX (0468) 49-8349

滝川郁子  
横須賀市長沢 87-2



## 肢体不自由児者運動会

### 素晴らしいしあつた運動会に乾杯！

ボランティアの皆さんのご協力に感謝

沢田市長さんもお祝いに：

十月二十七日、坂本地域自治活動センターで、第十九回横須賀市肢体不自由児者運動会が行われました。

からは、五人が元気に参加しました。開会式には、沢田横須賀市長もお祝いに来られました。

皆さん、頑張りましょう」と選手宣誓の言葉通り、笑顔と一生懸命な姿が随所に見られ、楽しい一日でした。

当日は競技者と同数位のボランティアの協力参加があり、中学生・高校生・先生方・熟年の方々、皆さん運営プログラムを首に掛けて、各種目を手際良く進行してくれました。

「玉入れ」・「鈴割り」の折には、玉を次々と集め選手に渡してあげたり、ボランティア・職員の種目「三人四脚」では、楽しそうに足並み揃わず転倒したり、「借り物」の場面では、腕立て伏せを三十回出来る人四脚」では、楽しそうに足並み揃わせ、五人が元気に参加しました。

全員参加の「パン喰い競争」を終えると、テーブルを出してお弁当。思い思いの場所で、家族や友人と賑やかです。午後一番は全員の踊り。炭坑節はちょっと運動会には不向きな感じ、もつとリズミカルな曲で、午後のプログラムへと気分を乗せて

体が前に行つてしまい、かえつて車椅子は進みにくく、ボランティアの人達には楽しみながらも、障害者の気持ちになつて見れる良い種目でした。最後は磁石での「魚釣り」。全員で魚を釣った後は、魚の番号の賞品が戴け、紙包を開けて皆でニコニコ顔。無事に終えることが出来、のびのびと整理体操をしました。

体育館に、色テープで作つたりんスラローム」では、ボランティアの人が車椅子に乗つてスロープを上がつたりコーンの間をすり抜けたり、慣れない車椅子の操作に気持ちと身

健民運動会にも乾杯！  
十月二十日（日）

誰もが利用できる交通機関を求める全国大行動」に参加して一小学六年相川和博一

十月十日、僕はお母さんといつしょに、『だれもが利用できる交通機関を求める全国大行動』というのに行きました。最初に追浜へ行きました。そこで、『子どものへや』の滝川充さんと待ち合わせて、三人で追浜駅へ行きました。充さんは黄色い車椅子に乗つっていました。お母さんが車椅子を押して、僕は充さんの荷物を持ちました。僕も少しだけ車椅子を押しました。追浜駅に行くと、他にも車椅子に乗つた人達がいて、車椅子に乗つていました。みんなで横浜駅の東口に集まりました。こんどはもつとおおぜいの人気が集まりました。そこでは車椅子に乗つた人が、マイクを持って話をしていました。僕は車椅子に乗つたりー

木塚八重子様が、主催されているナップアロヒロヒイカフラの皆様と共に、私達が取り組んでいる重度複障害者通所施設の建設資金協力と、計画して下さったのです。

舞台から皆様の温かい心が溢れてあらためて頑張らなくてはの、思い

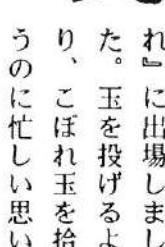
グの飾り、「子どものへや」でも朝ごとに職員が作つたな。魚釣りの賞品は、散歩の折に何種類も買つた。職員も色々な形で参加できつけ。職員も色々な形で参加でき楽しを分かちあえました。ボランティアの人達も協力出来たことで、幸せな気持ちややさしい心が、又、一つ大きく育つことでしょう。運動会に乾杯！

指導員 高橋賀子



ども達の歓声に心をウキウキさせ、今年も『紅白玉入れ』に出場しました。玉を投げるよ

り、こぼれ玉を拾うのに忙しい思ひをしました。境町内会が一着だったのは『二人三脚』でした。「あの速いペアは夫婦なのよ」と教えられ、「さすが！」と応援にも力が入りました。



目も耳も心も楽しく  
そして、温かく

十月十九日（土）に、さいか屋ホールで、アロハのふれあい（チャリティ・ハワイアンショー）が開かれました。

早く、トイレも電車も自由に使える舞台から皆様の温かい心が溢れて強くしました。

# 後輩、頑張れ 所員も歓迎！

武山養護学校より実習生

二人の感想は？

◎その① 九月三十日～十月十一日

長谷川大輔君が新矢先生と共に、一年ぶりに再び実習生として『こどものへや』の仲間となり、二週間程

過ごしました。海岸や畑への散歩・スポーツ教室・音楽教室と元気に参加して、新矢先生も「大輔君は初日と最後の日では、顔の表情が違うし『こどものへや』のベースにすっかり慣れて楽しむ事が出来た。社会人は体力があるので、卒業迄に体力をつけていた」との事でした。先生には車椅子からの、所員の乗り降りを手伝っていただき助かりました。

◎その② 十月十四日～十月二十五日

黒川寛子さんと伊藤先生が実習に参加されました。以下は感想です。

「毎日がとても楽しく、笑顔で過ごすことができました。午前中のお散歩では、ふだんとはひと味違った美しい風景を見、新鮮な空気を胸一杯に吸つてリフレッシュし、午後の音楽は好きな曲を歌つたり、楽器を鳴らしたりと、寛子さんが快い時間を持つことができました。そして何よりも嬉しかったのは、心優しい職員のみんな・所員の皆さんに温かく見守ったことです。

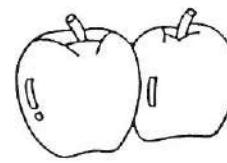
本当にあつという間で、気がついだ時には最終日だったという感じでした。充実した実習ができたことを皆

様に感謝します。ありがとうございます。また。

P・S

お別れの時（木）

ともおいしかつたです。ごちそうまでした。



心なごむ弦楽四重奏

に、演奏者（青年四人）を中心に、扇型に椅子がセッティングされていました。プログラムを見てビックリ

しました。演奏

が数曲入っていました。それは

格調高い『津軽海峡冬景色』『北国

の春』に聞こえました。又、演奏に

合わせて会場のお年寄りをはじめ、

皆が一緒に歌う、アットホームな雰

囲気の中、音楽会が始まりました。

音楽

室にて行われた『みんなで楽しむ音楽会』を、所員四人と聴きに行きました。

会場のドアを開けるとフロア

で

きました。

◇

お別れの時（木）

に食べた手作りの

プリンとりんご煮

とてもおいしかつたです。ごちそうまでした。

寛子さんのお母様 薫さんからも、感想をいただきました。

寛子は十月の二週間を『こどものへや』の皆さんと共に過ごせることが、とても嬉しい様子でした。朝、い日々を過ごすことができました。

や穏やかで明るい語りかけ、雨の日の音楽、福祉会館での音楽教室、レストランでのお食事等々に満たされました。帰途の車中や家でも、笑顔の生活で、私も心が楽で、嬉しくなりました。

日々を過ごすことができました。

い日々を過ごすことができました。

い日々を